

平成28年1月20日

27年度相談役・役員20名各位

(写) 委員

逆瀬台小学校区まちづくり協議会
「ゆずり葉コミュニティ」
会長 中村一雄
TEL 72-5644

逆瀬台小学校区まちづくり協議会「ゆずり葉コミュニティ」

■逆瀬台小学校区地域福祉懇談会の開催について（ご案内）

■2月度役員会開催のお知らせ（ご案内）

表記について、宝塚市全校区で実施される「地域福祉懇談会」が社協との話し合いの結果、急遽決 定しました。誠に申し訳ございませんが、ご多忙のところ、万障繩合わせの上ご出席の程、よろしくお願いします。

日 時：平成28年2月7日（日） 10：00～12：00 ⇒ 校区地域福祉懇談会の開催。

12：00～12：20 ⇒ 2月度役員会の開催。

場 所：逆瀬台小学校内 「ゆずり葉コミュニティルーム」

《地域福祉懇談会の開催》

- (1) 逆瀬台小学校区地域福祉懇談会の開催について（ご案内） …… 資料 1／8頁
(2) 逆瀬台小学校区地域福祉懇談会構成メンバー表（案） …… 資料 2／8頁

《2月度役員会議題》

報 告

- (1) 12/6(日) 「12月度役員会議事録」について (鬼頭書記)
資料 3／8頁
(2) 1/13(水) 「まちづくり協議会代表者交流会」報告について (活動局長)
資料 4～7／8頁
(3) 2/5(金) ファミリーマートとの営業時間などの話し合いについて (活動局長)
(4) 逆小スクールゾーンの依頼文書の配布について (ゆずりは会)
資料 8／8頁
(5) 4/1付発行の「ゆずり葉だより」春第83号について (事務局長)
★ 原稿募集締切り=2/21(日)
引取り=3/20(日)10時～11時………(3/16(水)午後には用意しています)

議 案

- (1) 平成28年度会長・役員の選出について (会長)
相談役、会長、事務局長、活動支援局長、広報、書記、経理、施設、監査役
(2) 平成27年度活動報告及び会計報告作成 ⇒ 3/20(日) (会長)
活動報告締切 ⇒ 2/25(木) 最終会計精算 ⇒ 3/10(木)
(3) 平成28年度定時役員会議案書 (会長)
報告(活動・会計・監査)、議案(役員委員・事業・予算)配布 ⇒ 4/10(金)
(4) 市補助金5条4号申請 ⇒ 4月中旬 事業内容:継続 (会長)

* * その他事項について

- (株)セレナス「宝塚飛翔殿」葬儀請負業務の提携 20%～30%割引
- 次回 ⇒ 定時役員会(総会にかわる) 4/24(日) 10:00～12:00

以 上

平成28年1月20日

様

ゆずり葉コミュニティ
会長 中村 一雄
宝塚市社会福祉協議会
理事長 稲野 廣

逆瀬台小学校区地域福祉懇談会の開催について（ご案内）

時下、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、逆瀬台小学校区の地域福祉の推進にご尽力いただき感謝申し上げます。

さて、この度、逆瀬台小学校区の地域での福祉活動を担っておられる皆様から、地域の特徴、地域における生活の実情や困りごと、それを解決するための課題や助け合いの状況等をお伺いし、皆さまと共に考え方を設けたいと考えており、下記の通り、校区地域福祉懇談会を開催させていただくこととなりました。

今後10年間で、少子高齢化がますます進み、人口の減少等、地域の様子は大きく変化し、地域力の低下が予想されます。その状況を見据え、身近な地域のつながりづくりが重要であると考えています。また、この場でいただいたご意見、地域課題等につきましては、宝塚市社会福祉協議会第6次地域福祉推進計画へ反映するとともに、地域住民が主体となり、誰もが安心・安全に楽しく暮らせる福祉のまちづくりを目指し、皆さまと共に取り組んでいきたいと思っております。ご多用中かとは存じますが、ご出席賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

記

1. 日時：平成28年2月7日（日）10：00～12：00

2. 場所：逆瀬台小学校内 ゆずり葉コミュニティルーム

3. 内容：
①宝塚市社会福祉協議会 第6次地域福祉推進計画の策定についての趣旨説明
②逆瀬台小学校区の今後の地域福祉についての意見交換

4. 連絡先 逆瀬台小学校区まちづくり協議会 会長 中村 一雄

電話（0797）72-5644

宝塚市社会福祉協議会 よりあいひろば 大関 可奈子

電話（0797）74-3690

FAX（0797）74-3640

以上

逆瀬台小学校区地域福祉懇談会構成メンバー（案）

- 逆瀬台小学校区まちづくり協議会「ゆずり葉コミュニティ」
- 自治会（11自治会）
 - ・逆瀬台自治会 井籠相談役、由利会長、大下役員
 - ・光ガ丘自治会 古泉会長、谷川原役員
 - ・阪急青葉台自治会 能瀬会長
 - ・宝梅園団地自治会 大河内役員
 - ・ゆずり葉台自治会 斎藤役員
 - ・逆瀬台2丁目自治会 中村会長
 - ・逆瀬川グリーンハイツ自治会 鬼頭会長、遠藤役員
 - ・逆瀬川マンション自治会 千秋会長
 - ・宝塚西山住宅自治会 安木会長
 - ・阪急逆瀬台マンション自治会 石谷会長
 - ・阪急逆瀬台アヴェルデ自治会 外山会長、栗山役員
- マンション管理組合（3管理組合）
 - ・逆瀬川パークマンション管理組合 安積役員
 - ・逆瀬台住宅管理組合 〔中村会長〕
 - ・シャンティー逆瀬川管理組合 石丸役員
- 民生委員・児童委員、主任児童委員（14名）
- 逆瀬台小学校PTA協議会「ゆずりは会」 小畠校長、大西会長、大西副会長、東副会長、甲斐田部長
- 逆小校区スポーツ活動推進協議会「スポーツクラブ21ゆずり葉」 赤坂役員
- 宝塚市逆瀬台小学校区健康づくり推進員 〔石谷会長、古泉会長、赤坂役員〕
- (株)リツツケア・ヘルパーステーション逆瀬台 松岡社長
- NPO法人きらり 川上理事長
- 逆瀬台小学校区福祉活動者
 - ・ふれあいいきいきサロン
 - ・助け合いの輪
 - ・子育てサロン
 - ・ボランティアグループ等
- 老人クラブ 西澤会長、〔千秋会長、石谷会長〕
- 宝塚市社会福祉協議会 溝口部長、森本所長、藤森コーディネーター、大関担当
- 逆瀬川地域包括支援センター 山岡相談委員

（13分野・組織団体）

平成 27 年 12 月 6 日
逆瀬台小学校区まちづくり協議会
「ゆずり葉コミュニティ」
書記 鬼頭 勝

「平成 27 年 12 月度役員会」議事録

日時 平成 27 年 12 月 6 日（日） 10：00～11：40
場所 ゆずり葉コミュニティルーム
出席者 議決権者 中村、千秋、石谷、由利（委任）、大下、古泉、能瀬
大河内、安木、安積、外山、栗山、斎藤（委任）鬼頭
非議決権者 井笠、西沢

< 議題 >

報 告

- (1) 10/5（日）「10 月度役員会」議事録及び「校区福祉ネットワーク会議」会議録について
中村会長から、上記議事録については資料 1～3／6 頁に記載の通りであり、問題ないと思うので説明は省略したい旨申し出があり、了承された。
- (2) 11/11（水）「まちづくり協議会代表者交流会」報告について
千秋活動局長から、まちづくり協議会体表者交流会について資料 4～5/6 頁の議事概要に基づいて報告があった。併せて中村会長・井笠顧問から、まちづくり協議会の原点、歴史、問題点等の補足説明があり、変わりつつある行政のスタンスを踏まえたコミュニティの強化と各自治会の自主自立が望まれるとの話があった。
- (3) 社協「第 6 次地域福祉推進計画」について
中村会長から、宝塚市は地域福祉業務を社協に委託しているため、平成 27～28 年度中に第 6 次地域福祉推進計画を策定する必要がある。来年 2 月辺りに社協を中心に民生委員も含めて会議を持つ予定である旨の報告があった。資料 6/6 頁参照。
★千秋活動局長から、地域福祉に関する参考資料として、セーフティーネットシステム図と地域支え合い活動の展開図が配布された。
- (4) 12/23（火・祝）「第 11 回宝塚ハーフマラソン大会」従事ボランティア
中村会長から、ボランティア募集の依頼があり、中村、千秋、古泉、石谷の各氏がボランティアとして参加することになった。
- (5) 1/1 付発行の「ゆづり葉だより」新春第 82 号について
石谷事務局長から、同号の引取りが 12/20（日）10 時～となる旨の説明あり。
12/16 午後には引き取り可能とのこと。

議 案

- (1) 平成 28 年度会長の選出について
中村会長から、来年度の会長職を 2 月の役員会で決める必要があり 5 役で話し合った結果、千秋活動局長を推薦することとなった旨説明があり、全員了承した。
正式には 4 月の総会で選任される。

以上

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会(平成27年度・第4回)報告

日 時 平成28年1月13日（水）14：00～16：00
場 所 宝塚上下水道局3階第一会議室
出席者 まちづくり協議会（17）
市民協働推進課梶原課長、吉岡係長、川上
欠席者 光明小学校区まちづくり協議会、小浜小学校区まちづくり協議会、西谷地区
まちづくり協議会

議事概要（要旨）

1. 宝塚市長新春挨拶

○中川市長より新年のご挨拶がありました。

2. 宝塚市の行政について

①健康福祉部

○川瀬部長より資料に基づき説明がありました。（別紙参照）

Q. これから重要な部分なので、市の施策との位置付けを知りたい。特に第5次総合計画ではどのように入っていたか。（コミュニティひばり）

A. 来年から第5次総合計画後期基本計画が始まるが、今ある7つの柱に『エイジフレンドリーシティ』を追加した8つの柱としている。高齢化に対応したまちづくりを行っていく。新しい取組として、高齢者の方が支える側に回り、元気づくりや居場所づくりを行う。

Q. 『協働のまちづくり』についてどう考えているのか。どのまちづくり協議会にも福祉部会はあるが、部会がばらけてきているのであり方を見直さないといけない。真剣に市民と一緒にになって考える場を設けてほしい。（コミュニティひばり）

A. コミュニティすみれの福祉部会へ地域福祉課の担当者が以前伺った。現在、山間部に開発した住宅地が一斉に高齢化し、高齢化に伴う交通アクセスが問題となっている。市内の高齢化率は26%、山手（逆瀬台、中山五月台）では30パーセントを超える。この状況は、エイジフレンドリーの庁内検討会でも議論している。道路政策課では、3年ほど地域と話し合い、月見山でバスを走らせる側面的な支援を行った。他には、買い物、病院の問題がある。病院は足が必要のことから、平成26年10月から従来のバスの補助に加えてタクシー補助券の配布を行っている。買い物の問題については、コンビニと高齢者の雇用や、訪問販売を行うことを協議している。

Q. 地域をまきこんで、行政と一緒にやってほしい。（コミュニティひばり）

A. 行政の職員と、地域の方と顔が見える関係が作れていないのが現状。信頼関係を作るためには、実績をつくることが必要。それが協働になっていくのではないか。

Q. 宝塚市セーフティネット会議があるが、市の顔が見えない。各課各部において、年間どれだけ地域に出向くのか数値目標を設定する必要がある。どこまで達成できたか、報告をいただきたい。（コミュニティすえなり）

- A. 地域福祉課を作った理由がそこにあり、担当の係長には地域に顔を出してこいと言っている。地域に出向き、話をしてネットワークを作るのが地域福祉課の仕事である。今まで以上にもっと地域に出向いてほしいと声をかけている。来年、この場に出たときに胸を張って言えるようにしたい。
- Q. 上から落とさないことにはできない。上手く部長から言っていただきたいと思う。そうしないと本当に顔が見えない。（コミュニティすえなり）
- Q. 昨年秋に1回、校区見守り会議を行い、市から出席者があった。他にも、民生委員、地域、コミュニティも出席した。第2回は、1月19日（火）に行う。行政に来てもらい、話を聞くことで、コミュニティとしても積極的に進めていこうとしている。声をかけると来てもらえる。（中山台コミュニティ）
- Q. 市のほうもよく考えて対応しかけておられるなと感じた。重要だがゴールがないので、どこまでやればいいのかとても難しいと思う。まちづくり協議会から市の方へアプローチしていただきたい。（宝塚小）
- A. こちらからもアプローチさせていただく。顔の見える関係が大切である。

3. 他のまち協に聞いてみたい事

○地域の見守り（子どもや高齢者）でどのような事を行っているのか

（コミュニティすみれ）

すみれガ丘はマンションの地域であり、全体のうち2,800世帯がマンション、残り50世帯が一戸建てである。住民同士の顔が見える関係をつくりたいと考え、ラ・ビスタささえ愛ネットを立ち上げた。

現在、地域の見守りを調整しようという動きが巻き起こっている。今から私たちはどういった見守りが必要なのかを話し合おうと、民生、自治会、コミュニティ代表、ささえ愛ネット代表、マンション管理センターの職員、地域包括支援センター、社協、地域福祉課の職員とで、月一回話し合いを行っている。

『福祉の見える化』を図ろうということで、住民がどういう形で動いているのかを把握するために、福祉の地図を作ろうという意見が出た。すみれガ丘はマンションが15棟あり、『いきいき100歳体操』に参加する高齢者はどこからきているのか、ささえ愛ネットのボランティアさん100人はどこに住んでいるのかを地図に示している。地図に落としていくと、地域事情が見え始めている。そこから、どう進めていったらいいのか分からぬ。各コミュニティのアイデアや、工夫を知りたい。

（長尾）見守り活動は一番大事である。ふれあいコミュニティ長尾では、毎月1回『地域つながる会議』を行っており、自治連、まち協、民事協、社協、地域包括支援センター、医師会の6者が、話し合いを行っている。また、障がい者差別解消法に対しての研修会を何度か行っている。最終的に集まって、結果（成果）が分かる場所が必要だと思うので、2回の合同研修を設けている。1回は見守りも含めた人権について、もう1回は防災訓練。研修をした結果が返ってこないと、我々も次に進めない。

（すみれ）お互いに見守り合う事が大切ではないか。知り合いになると、気になる人が増えてくる。イベントの際には、必ず自己紹介をするようにしている。また、包括支援センターの専門家、看護師、医師、ケアマネージャー、施設の代表などと地域の住民が一緒になって月一回勉強会を行っている。一緒に企画をし、構造を組み立てていく中で、半年ほど経つと顔が見えてくる。

(長尾) 第5地区に、認知症専門のセンターが建った。その一階は地域住民が勉強会等に利用できるスペースがある。

(市) 市内7地区の施設を整備していく中で、今回はまたま5地区を整備することとなった。市が事業者に対して募集すると、あいわ苑さんが応募され選定委員会により選ばれた。

(すみれ) 施設にコミュニティセンターのような機能が付いているのは良い。

(市) 社会福祉法人は地域とのつながりづくりを重視しているため、交流スペースを持っている。利用者と施設の間に関係性を築いていくことが大切。社会福祉法人は税制面でも優遇されるなど半分公的な団体なので、より社会に貢献するという性格を前面に出すために、法改正が進んでいる。近所に高齢者施設があれば、「部屋を使わせてもらうことできますか。」と尋ねてみるのも良い。交流スペースを設けるように国が義務を課している。施設の運営も地域に開放するようにと指示が出ている。

(亮布) 第5地区に災害時要援護者支援の開始とある。(別紙参照)亮布ではフレミラ宝塚が、災害時の予備避難所となっており、要支援者を保護する施設となっているが、これとはまた別か。

(市) 市から要援護者が地域にこれだけいるというのを情報としてお出しして、その情報を受けた地域の方が、個別に災害時の対策を考えていくという仕組み。拠点の話と一緒にになっているというわけではない。

(西山) 民生委員、社協、地域包括支援センターと月に一回運営委員会を行っている。また、まちづくり計画を作った当初のメンバーが集まり、福祉のネットワーク会議と一緒に、創造会議というものを年三回行っている。また、西山まつりとワイワイフェスティバルを10月と3月に行い、地域と小学校の連携や、防災をテーマとしている。見守りについては、自治会の班長さんに回覧をしてもらったとき、見守りの確認をしてほしいとお願いしている。自治会費を集めるとときに、班長さんに見守りが必要な人や空き家の確認をお願いしている。他には、10年前に作成した安全安心マップの改訂作業を行っている。

4. 市からのお知らせ

(1) 行政相談委員のご案内→行政相談委員より案内がありました。

Q. 具体的にいつ、どこで行っているのか。

A. 第4月曜日、14:00～16:00。

(2) ハーフマラソン大会のご協力のお礼→生涯学習室島廣室長より挨拶がありました。

(3) FMたからづか出演の報告→吉岡係長より出演依頼の説明がありました。

(4) 市民活動支援講座のご案内→宝塚NPOセンターより講座の案内がありました。

5. 今後の日程

第5回：日 時	平成28年3月9日（水）14時～16時 (※基本は第2水曜日)
場 所	宝塚市上下水道局第一会議室
主なテーマ(案)	未定

●近年の地方自治体のトピック

- ① 平成26年4月、消費税率5%から8%へ引き上げ 社会保障の充実・安定化の財源に。高齢者中心の社会保障（年金・医療・介護）に、子ども・子育て支援を追加 未来への投資
- ② 896市區町村が「消滅可能性都市」という衝撃
→ 平成26年5月；日本創成会議『増田レポート』

国民の「希望出生率」の実現
東京への「一極集中」の歴止め

●地方自治体の取組

平成27年度内にく地
方版総合戦略》を策定

- ・地方人口ビジョン
- ・雇用創出
- ・結婚・出産・子育て



●宝塚市の取組

地域福祉を強力に推進

- ・エイジフレンドリーシティ（高齢者にやさしい都市）
- ・地域包括ケアシステムの構築
- ・生活困窮者へのアートリーチ

●わが国の社会構造の変化と対策

- ① 現状は社会保障のセーフティネット機能が低下
 - ・少子高齢化の進行、生産年齢人口の減少、経済の長期低迷・グローバル化の進行、生活困窮のリスクの高まり、家族や地域の扶養機能の低下、非正規雇用の労働者の増加等
- ② 都市の生き残り策として、先手を打つ必要
 - ・高齢化・人口減少の進展により、税収は減少し、社会保障費（医療・介護等）は、今後さらに増大の一途
 - ・厚生労働省は、医療・介護制度の制度持続性の処方箋として、「地域包括ケアシステム」を提示

●平成27年度の健康福祉部の組織体制

○安心ネットワーク推進室

- ・高齢福祉課、地域福祉課、介護保険課

○健康推進室

- ・健康推進課

○福祉推進室

- ・障害福祉課、生活保護課、生活支援課

○簡素な給付措置プロジェクトチーム

●平成27年度の健康福祉部の新規取組

○地域福祉課を新設(4月)

<成果>： 第5地区の災害時要援護者支援の開始、エイジフレンドリーシティの講演会・意見交換会 等

○府内に「せいかつ応援センター」を設置(4月)

・社会福祉協議会の専門職（社会福祉士）が、「地域福祉」の観点から、「宝塚NPOセンター」の就労支援とタッグを組み、生活困窮者支援を実施

<成果>： 生活困窮者19人の就労（平27.9末現在） 等



●目指すべき都市像は、公的サービス・制度と市民活動の適切な組み合わせ

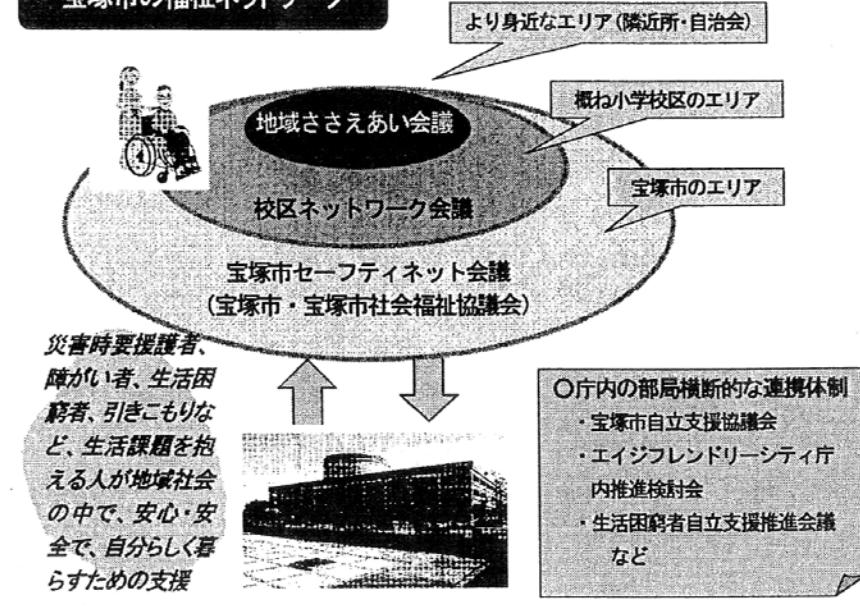
- 市民活動のテーマは、防災、環境、文化、教育、国際協力など幅広いが、医療・福祉も重要な分野
- 行政の縦割りではない、地域単位の横串の福祉活動を「地域福祉」というが、市民活動ともオーバーラップ
- 制度の谷間となる生活困窮者への支援は、もともと、「地域福祉」の最重要の課題
- エイジフレンドリーシティの取組では、高齢者の「居場所づくり」「健康・生きがいづくり」のため、高齢者が「支える側」へ
- 「地域包括ケアシステム」では、医療と介護の専門職の体制づくりの一方で、高齢者の生活支援（ゴミ出し、買い物、掃除等）に、NPO、住民ボランティア等などが参入
- 高齢者の「主体性」と「生活の質」を維持・向上しつつ、「支える側」へ

セーフティネット構築の視点から「協働のまちづくり」を強力に推進

●地域には、様々な生活課題が潜在化…たとえば

- ・全国で、認知症約462万人・軽度認知症機能障がい約400万人（2012年：厚労省）
 - ・宝塚市（2015年4月）65歳以上人口59,701人×全国有病率推定値15%＝約8,955人
 - ・要介護認定・日常生活自立度レベル2以上 =5,029人（2013年度）
- ⇒ 地域の見守り・市民後見人等の様々なニーズをとらえられているか？

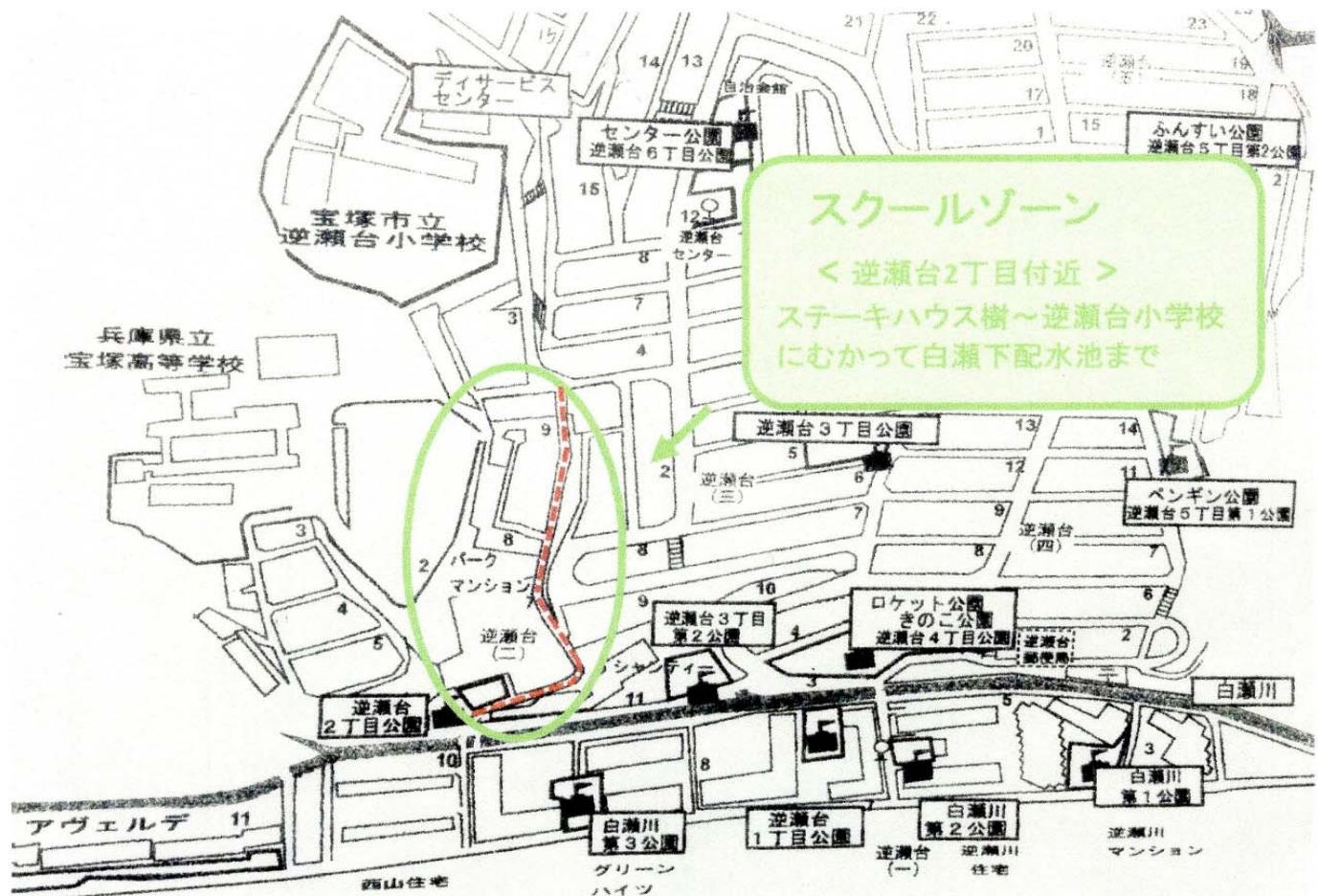
宝塚市の福祉ネットワーク



地域の皆様へ

平素は逆瀬台小学校ゆずりは会の活動にご理解・ご支援いただき心より感謝申し上げます

＜スクールゾーンについてのお願い＞
月～金（祝日を除く）
朝7時30分～朝8時30分 は
スクールゾーン となるため
車両進入禁止 となっております



子ども達の交通事故防止の為、ご協力の程よろしくお願ひいたします

※通行許可書をお持ちの方はご提示をお願いいたします



逆瀬台小学校
校長 小畠 宏明
ゆずりは会会長 大西 彩乃
愛護部部長 甲斐田 裕美子